

すっぴんクロス標準施工方法

すっぴんクロスは、天然繊維を原料とした本物の織物壁紙です。

ホツレ防止加工を施し、リピートのない織柄を作ることで、施工性を高めています。

しかし、ビニールクロスとは施工手順が違いますので、「標準施工方法」に基づき施工して下さい。

【製品情報】

有効巾：92cm(柄リピートなし)

- ◆ 糸で織った「布クロス」です。
- ◆ 糸の種類と、糸の量により価格が違います。

【素材】

- ◆ 綿、麻、レーヨン、ポリエステル(パウダールーム・キッチンのみ)

【施工】

- ◆ 自動糊付機が使えますが、糊の付け過ぎには注意してください。
- ◆ コークボンド(ジョイントコーク)は使えません。
- ◆ 糊の付け置きは、アイハギの原因となります。

【注意事項】

- ◆ 天然素材を使用していますので、ロットにより多少色が異なる場合がございます。
- ◆ ビニールクロスと比較するとジョイントが分かりますが、エコクロスの中では目立たない商品です。
- ◆ 細かい巻で出荷させていただく場合がございます。

すっぴんクロスは織り柄やホツレ止め加工などで施工性を高めていますが、一つ一つの工程を丁寧に作業していただくことが、キレイに仕上げる最大のポイントです。

< 専用でんぷん糊、ご注文はお済みですか？ >

専用でんぷん糊を使用しなかったことによる、やり直し工事も発生しています。クレームを避ける為にも、すっぴんクロス専用のり「こむぎちゃん」の使用をお勧め致します。

すっぴんクロス発売元

アトピッコハウス株式会社

神奈川県鎌倉市佐助 1-2-4 TEL0467-33-4210 FAX0467-33-4212

ホームページ <http://www.atopico.com/> info@atopico.com

【施工のポイント】

- ◆ カッターはコマメに取り替えるようにしてください。切れ味が悪いとジョイントが目立ち易くなります。
- ◆ ローラーを強くかけないでください。織物の光沢が変わり、ジョイントが強調されます。
- ◆ 糊付け後、10分を目安に施工してください。

【注意】

- ◆ 廻り縁のない壁面を貼る場合は、壁紙のカット面に必ずクロスカットテープを貼り、天井面に糊を付けないように注意して下さい。(糊がつくと取れません)
- ◆ 出隅、入隅は、廻し貼りをして下さい。
- ◆ コークボンドは使えません。
- ◆ 下地合板には、必ずシーラー処理をして下さい。
- ◆ ボードと下地合板のジョイント部分には、必ずカンレーシャを張って下さい。
- ◆ ローラーを強くかけると、テカリの原因となります。
- ◆ 天地の印はつけておりません。糊付け後の天地逆転には十分注意してください。

【品質】

- ◆ 織物壁紙は、糸の伸縮やジョイント部での光沢差が発生する場合があります。
- ◆ 天然素材を使用していますのでロットが変わると多少色が変わります。
- ◆ 内装制限を受ける場所に貼る場合は、YA-9000番台の商品をお使い下さい。防火性能は準不燃です。その他の品番は防火認定を取得していないので、制限のある場所には貼れません。

【施工時・施工後の注意】

- ◆ 壁紙を張り終えた後の急激な乾燥は避けてください。目地スキの原因となります。
- ◆ 夏場の施工時には窓を開放せず、施工後も窓を閉めて急激な乾燥を避けて下さい。

【下地調整】

- ◆ 織物壁紙は水分を通しやすいので、下地処理を充分に行ってください。
 - ◎ 湿式工法のコンクリート面、モルタル面は、下地のアクを壁紙に吸い上げ、変色やカビの発生を起こしますので必ずシーラー処理をして下さい。
 - ◎ 下地が合板の場合も、シーラー処理をして下さい。
 - ◎ 部分的に下地が合板になっている場所も、シーラー処理を行ってください。
- ◆ パテ処理の際、ネジ・釘類は必ずサビ止めを行ってください。
- ◆ 下地の不陸を拾いやすい商品です。ボードの施工、丁寧な下処理で仕上がりが綺麗になります。

【糊の配合と塗布量】

- ◆ 糊は濃い目にてお使い下さい。目安は「施工のり10:水7」の割合です。
- ◆ 塗布量は壁紙の厚さに合わせて調整して下さい。
- ◆ 糊を付けすぎるとジョイント部分でローラーを使用した際、表面に糊が出ます。出た糊は、ふき取ってもビニル壁紙のように綺麗に取れません。

【糊付け・オープンタイム】

- ◆ 織物壁紙は浸透性があり、糊の乾燥も速いので、アイハギが発生する可能性があります。糊の付け置きは絶対にしないで下さい。
- ◆ オープンタイムの目安は5分、糊付け後、10分以上放置しないでください。

【貼りつけ(施工)】

- ◆ 貼りつけは、「突き付け貼り」を原則とします。
化粧断ちしている商品も、スリッターを通してからお使いください。
- ◆ 石膏ボード下地で重ね切りを行う場合は、下敷きテープを使用し、石膏ボードの表層紙まで切り込まないように注意して下さい。
ボードの表層紙を深く切り込んだ場合、目すき(目開き)の原因になります。
- ◆ 重ね切りをした場合、強引にローラーをかけても不陸がとれません。厚みのある品番ほど顕著です。
強引にローラーをかけず、上部側の壁紙を指でずらしながらローラーをかけるとうまく仕上がります。
- ◆ 張替工事に際しては、ジョイント部分には必ずジョイント補強テープを使用して下さい。
- ◆ 表面を強くこすると織物がほつれたり、織物の光沢が変わりジョイントが目立ちますので、なで付けローラーがけは丁寧に行ってください。(アテ紙をして下さい)
- ◆ 織物壁紙は、汚れた場合ふき取っても汚れは綺麗に取れませんので、壁紙の表面に水や糊を付けないように充分注意して下さい。

アトピッコハウスでんぷん糊 こむぎちゃん 溶解方法

【冬期注意事項】 冷水はダマになることがありますので、ぬるま湯を使うようにしてください。

- 1) 箱(18kg 入)を開き、そのままの状態のコップ 1~2 杯(約 200cc~400cc) 程度の水を入れます。
*袋に密着していて取り出せない為
- 2) そのままの状態 で箱を左右に動かします。「のり」が固まりのまま、簡単に袋から出すことができますので、ポリバケツ等の容器に移し替えて下さい。
- 3) 水を加えず「のり」だけの状態 でよく攪拌して下さい。ここでクリーム状になるまで攪拌するとダマになることがあります。
- 4) クリーム状になったら、水(きれいな水道水)を 1000cc~2000cc 入れ、よく攪拌します。
- 5) 十分に攪拌できたら、再び水を入れて攪拌し濃度を調節して下さい。
(水の割合は、のり 10:水 7を目安に)

* すっぴんクロスには濃い目の「のり」にして下さい。施工面積は 130~150m。
壁紙の種類、現場条件によって必要な濃度を変更することもできます。

注意事項

- よく攪拌しないとダマができる恐れがあります。
- 分散剤を使用していない為、溶解後しばらく放置すると沈殿します。
- 施工途中、粘度が高くなったら、残った量の 5%弱くらいの水を入れて攪拌してください。
- 水で稀釈した「のり」は出来るだけ、その日の内にお使い下さい。

※作業終了後は必ず糊付機を洗浄して下さい。

【原料】 小麦、タピオカ、コーンスターチ、クエン酸(防腐剤)

こむぎちゃん発売元
アトピッコハウス株式会社
神奈川県鎌倉市佐助 1-2-4 TEL0467-33-4210 FAX0467-33-4212
ホームページ <http://www.atopico.com/> info@atopico.com